

2022 年度第 3 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ（案） r1

2022 年 11 月 4 日
社会・環境部会 事務局長
山本 隆一

1. 開催日時
2022 年 11 月 4 日（金）10：00～11：30
2. 開催場所
Zoom によるリモート会議
3. 出席者
土田部会長、佐田副部会長、諸葛委員、廣瀬委員、寿楽委員、布目委員、高木委員、小林委員、木藤委員、竹田委員、桑垣委員、山本事務局長
4. 配付資料
22-3-0 議事次第
22-3-1 2022 年度第 2 回社会・環境部会運営小委員会議事メモ案
22-3-2 部会等運営委員会の状況について
22-3-2（補足）企画委員会_外部資金による事業について_公平性・透明性
22-3-3 2022 年度予算執行状況等
22-3-4 マスメディアとの関係構築（現状報告およびお諮り事項）
22-2-5 ポジション・ステートメント改革の進捗状況について
22-2-6 部会 HP について
22-2-7 社会環境部会 2022 秋の全体会議メモ案
5. 議事概要
部会長挨拶の後、議事次第に沿って議事が進められた。
 - (1) 前回議事メモ確認
山本より 22-3-1 に沿って前回の議事について紹介し、確認がなされた。
 - (2) 部会等運営委員会の状況について
稲村委員欠席のため同委員が別途用意した解説資料により山本が以下のようなポイント紹介を行った。
 - ① 学生連絡会主催のポスターセッションへの選考委員選任は今後部会毎に 1 名から 2 名に増やす方向とのこと。
 - ② 年会大会の開催方式として、春はオンライン、秋は対面とする方向

で検討中とのこと。本件については決まり次第周知することのこと。

- ③ 事務局の負担軽減のため、企画セッションの連絡者は本会会員であることはもちろん、関係者間で適宜フォローできるようにしてほしいとのこと。
- ④ 外部資金による事業の進め方については資料 22-3-2（補足）により確認願いたいとのこと。
- ⑤ 当部会のプログラム編成 WG メンバー 3 名のうち理事就任の小林委員については、桑垣委員に交代をお願いすることとなった。

(3) 定例報告等

① 2022 年度予算執行状況等

高木委員より 22-3-3 に沿って説明があった。その中で、マスメディア交流会に関わる費用が具体化されたことが紹介され、支出について承認された。また、秋の大会を機に部会としての取り決めが必要になった登壇者以外の者への旅費の扱いについては、改めて内規を作成することで承認された。

② マスメディアとの関係構築について

廣瀬委員より 22-3-4 に沿って説明があった。その中で、今年度の交流会のテーマは「革新炉開発の現状と今後について（案）」とし、エネ庁革新炉 WG の黒崎座長をお願いすることとして、来年 1 月 13 日の午後開催すること等の紹介があった。なお費用については前記の予算紹介の中で承認されたことが確認された。

③ PS について

山本より 22-3-5 に沿って PS 改革の進捗状況について紹介した。これに関連して、前回の運営小委員会において削除された運営小委員会内の PS 対応チームについては、公開済み PS の見直しをする作業を行う期間のみ復活した方が良くもしいないとの意見が付された。

④ 部会 HP について

木藤委員より 22-3-6 に沿って部会 HP の現状について紹介があった。その中で、部会員の減少が話題に上がり、対応策として「入会のご案内」のページに部会への勧誘に向けた情報も加えることなどが提案され、引き続き検討することとなった。

(4) 2022 年秋の大会報告

秋の大会については既に全体会議メモが回覧済みであること等から、ここでは省略することとなった。

(5) 春の年会における企画セッションについて

本件についてはまず春の年会において部会として単独の企画セッションを持つか否かの意見交換が行われた。その結果、「総合知」研究専門委員会とのセッション共催を志向する意見が多かったことから、同委員会との共催セッションを提案することとした。セッション提案書の具体的内容については当該専門委員会で議論を深め、具体化した上で、会議体間で協議して提案を行うこととした。

以上